

てい鍼職人の小越です。

それでは、今日はケース作製編のはじまり、はじまりです。

その前に、てい鍼1本を完成させるにはどのくらいの時間がかかるか？

“チタンの丸棒を中目によるヤスリで一端は半球状に、もう一端は先細り形状に削っていき、次に細目のヤスリで削り面を滑らかにしつつ、形状を整え、最後は紙ヤスリ或は布ヤスリでヤスリ傷を取り除いていくまでの所要時間は？”

何分くらいだと思いますか？

.....

.....

答えは約50分です。多少は前後しますが。

以前は、かなりのスピードをもって製作していましたが、1本1本を大切に、最高の品質をあなたに届けたいというポリシーから、十分な時間をかけることにしています。

もちろん、金や銀のてい鍼はこの限りではありません。これらの貴金属は、柔らかく曲がりやすいので少しずつ削っていかなくてはなりません。その分、さらに時間がかかります。

では、ケース作製編に入ります。

現在ケースの種類は、色別には4色揃えてあります。黒、無地（薄茶或は肌色）、黄、赤の4種類です。材質的には、黒・無地とも栃木ワイルドサドルレザーという本ヌメ革を使用しています。光沢があり、コシもしっかりしており、てい鍼用にはもってこいの材料ですね。特に黒はコシが大変しっかりしているため、銀・金用のケースには最適です。

黄、赤はカラーヌメ革を使用しています。革の繊維まで色が通った、いわゆる芯通しのヌメ革で、光沢はありませんが、コシもしっかりしており、てい鍼用の簡易ケースとして使用しています。

厚みは、どれも2ミリに統一しています。裁ち革、サイズ 36cmx46cm で購入します。

以下、これら革材料をどのようにして加工してケースとして商品化していくか順を追って説明していきたいと思います。

- ① まず、裁断です。てい鍼のサイズ(直径、長さ)をもとに切っていきます。
直径6mm の場合、幅を 35mm の短冊にステンレス定規(直尺)とカッターで裁断します。次にこの短冊を、適宜の長さ、てい鍼長さ 110mm の場合、100mm と 180mm の長さで、差し金(曲尺)を用いて各1枚カットします。ケース1本につき、短冊が2本(長、短)必要になるわけですね。
- ② 次に、短冊を貼り合わせるのですが、勿論ウラ同士を水溶性接着剤で角、側面(コバ)を合わせながら貼り合せていきます。水溶性接着剤を使用しますので、瞬間接着剤のようにはすぐにお互いが接着するわけではありません。指で1~2分間圧力を加えるか、何か重しになるようなものを置いておきます。

この水溶性接着剤は、たとえ指に付いても(側面を合わせるために必ず付きますが)簡単に落とせるのでお勧めです。呉々も、油性の接着剤はお使いにならないように。指に付いたらなかなか取れません。指にヤスリをかけたくありませんからね。
- ③ コバ(側面)の処理をします。余分な接着剤を剥がすためとコバをそろえるためにクラフト用のヤスリ(ドレッサー)で滑らかにします。ここで、無地革の場合は、コバをコバ仕上げ剤を用いて磨きますが、それ以外の革は、この後罫書き作業を行います。
- ④ ノギス(精密測定器のひとつ)で罫書き作業(縫い目に線を入れていく)を行います。コバから3mm 内側に穴をあけるため、ノギスのジョウ(外側測定面)間隔をあらかじめ3mm にセットしておき、この一方をコバに当てもう一方の尖端で罫書き線を入れいきます。手縫いする箇所をこの要領ですべて罫書きます。
- ⑤ さて、今度は穴明けです。特殊な工具(8本菱目打ち)を木槌で叩いて穴を明けていくのですが、この前にしっかりとこの菱目打ちのみで罫書き線に沿って刃の跡を十分につけていく必要があります。この作業を怠ると縫い目がジクザクになり、綺麗な真っ直ぐな縫い目になりません。

時々、深夜に穴明け作業を行うことがあるのですが、マンションの方たちはどう思っているのでしょうか?かなり大きな音がします。安眠妨害もいいとこですね。

穴明けは、必ず日中に済ませることが鉄則ですね。いつもそう自分に言い聞かせています。

- ⑥ さあ、いよいよ手縫い作業に入ります。革用手縫い針と口ウ引き済糸(ナイロン製)を用い、縫い目に沿って縫っていきます。ここでも特殊なクランプを使用します。

当初は縫う対象物を持ちながらすべて手で縫っていたのですが、時間がかかる、かかる！ある時、業者の方からの勧めもあって、クラフト専用のクランプを購入しました。

これを用いると、両手があくので縫うことに専念でき、大いに作業の時短に貢献。以来、この類いの機械・工具は惜しまずに導入することになっています。

- ⑦ 手縫い作業が終わったら、今度は仕上げ裁断(ペンシルタイプのケースを作製するため、耳の部分を最後に切る必要がある)を行い、コバの仕上げ、床面の仕上げを行います。即ち仕上げ剤を塗布して面を滑らかにしていきます。

ケース1個を完成させるには、実はてい鍼以上の時間がかかります。ゆうに1時間はかかるのです。